スチームアイロン使いこなし術

どんな素材もきれいに仕上げる、アイロンがけのプロが技を直伝。

パワフルスチームのティファールなら手品のごとく、どんな素材もあっという間にきれいに仕上がる。その技をプロのアイロン職人から伝授してもらった。

撮影・鍋内成智　スタイリスト・二戸久子の　ヘア&メイク・清水美之

蒸気を上手に使いこなすことが、アイロン上手への近道ですね。

大野由美子さん　おおの・ゆみこ　モデル

洋服をきれいに仕上げるには、大量のスチームが不可欠です。

山澤亮治さん　やまさわ・りょうじ　有限会社ヤマサワプレス代表取締役

主婦の苦手家事No.1のアイロンがけ。今まで極力アイロンいらずの洋服を選んでいたモデルの大野由美子さんもそのひとり。さっそくアイロンがけ13年の達人、山澤亮治さんに苦手を得意にするコツを教えてもらった。

「アイロンがけが苦手な人ほど蒸気がパワフルなものを選んでください」と開口一番に語る、山澤さん。

ちなみに、山澤さんが愛用しているのは、業界最大級の蒸気を誇るティファールのスチームアイロン。

「スチームが強いと蒸気の水分が繊維の奥にまで届くから、頑固なシワもあっという間にきれいにのびます。浮かしがけもでき、大抵の素材にかけられて便利です。また、大量の蒸気はファーやモヘア、ベロアなどの起毛素材の風合い再生や脱臭にも役立ちますよ」

さらに、早くきれいに仕上げるのに重要なのが、熱の立ち上がりの早さ、かけ面の大きさ、そして適度な重さ。

「確かに、このアイロンだと無理に力を入れなくても、スルスルと生地の上を滑り出しますね」（大野さん）

使う人に重さを感じさせず、生地にはしっかり重さを伝える。この絶妙なバランスが労力と時間を最小限に抑え、プロに選ばれる所以。

「大量スチームのアイロンがこんなに便利だとは思いませんでした。洋服がみるみるきれいになって、アイロンがけが楽しくなりそう」（大野さん）

ファー付きダウンジャケット

つぶれていたダウンやファーのボリュームアップに。

最初に蒸気を裏の内側から入れる。温度は中温、スチームモードを使う。

「しまっていたダウンやファーはいざ着ようと思うとペッタンコになっていることが多くて」と大野さん。

「大丈夫、蒸気の力でふっくら新品同様に蘇りますよ」（山澤さん）

ダウンは前ボタンを閉め、まず襟から内側に蒸気をシュッ。次にボタンを開け、脇や肩の部分に内側から蒸気を当てショルダーラインを整える。その後、表面へ。背中と全体に、アイロンを浮かせたまま蒸気だけを当てる。ファーはブラッシングの要領で蒸気を当て、手でなじませるとリッチな動きが戻る。

スエードのシャツ

かけにくい素材のシワと質感も蒸気で再生。

スエードや別珍などの起毛素材も、蒸気がパワフルならアイロンの重さをかけずにシワがのびる。温度は中温、スキームモードを使う。

「起毛した風合いが命のスエードは、左手で生地を引っぱりながらアイロンをミリミリほど浮かし蒸気を当てるのがコツ」（山澤さん）

パワフルなミクロサイズの蒸気が生地の隅々にまでまんべんなく浸透し、シワをのばしながら質感を取り戻してくれる。別珍やモヘアニット、ファーなどの素材にも同じ方法で使える。

ニットのカーディガン

折りジワなど頑固なシワがついてしまったニットに。

温度は中温でジェットスチームでなでるようにかける。

ニットはハンガーにかけてシワの部分を左手で軽く引っぱりながら、なでるようにアイロンをかける。大抵のシワは1回でのびる。ヨレが気になる部分はアイロン台の上で蒸気を当て、手で押さえ形を整える。

「シフォンやシルクなどふんわりした素材のブラウスや、かけにくいギャザーにもおすすめ」（山澤さん）

ウールのコート

アイロンの重さと滑りのよさで厚手の大物もラクラク。

アイロン下手には手ごわい、厚手素材のウールのコートもティファールのスチームアイロンなら簡単に。

「本当！　滑りがよく、重さを感じないからラクですね」と大野さん。

「温度は中高、蒸気はスチームモードで、最初に袖、後ろ身頃、前身頃、襟の順で、面積の広い後ろ身頃は一気にかけるのではなく右半分、左半分と分けてかけるとアイロンジワを作りにくいです。前身頃はボタンが付いている身頃を先に。洋服の顔となる襟を最後にします。とにかく早くきれいに仕上がるのでお試しを」と山澤さん。

この順番はジャケット、シャツを含むほとんどのトップスの共通ルールなので、覚えておくと便利。

ホントだ、無理に力を入れなくてもみるみるシワがのびて気持ちいい。

厚手素材のコートは蒸気を当てながらゆっくりと滑らしていく。今回アイロンがけの指導をしてくれた山澤さんはアイロン職人だった父の跡を継ぎ、13年前に洋服のプレスを専門とする会社を設立。アイロンがけの出張講習や女性誌などの特集ページなどでも活躍中。
大野さん・ニット1万3650円(シーティーブラージュ／㈱C.T.A☎06-6241-7311)　ネックレス1万8900円(レイ・オオウチ／セーズ☎03-3842-5320)　山澤さん・シャツ8,295円、パンツ1万5645円(共にランズエンド／日本ランズエンド☎0120-554-774)

ファスナー部分はアイロンをドライの中温にして、当て布の上からかける。

ファスナーを閉め、スカートの内側全体に蒸気を行き渡らせる。

ウールのスカート

急がば回れのひと手間がプロならではのテクニック。

「最初にスカートの内側に蒸気を当て、布をやわらかくほぐしておくとシワがのびやすく後がラクです。パンツも同様です」と山澤さん。

このひと手間が山澤さん流。アイロンは中温、蒸気は通常スチームで使用。まず、ファスナーを閉めたスカートの内側に蒸気を入れる。その後アイロン台に置き、ファスナーを開けウエスト部分に内側からアイロンを当てる。スカートの表側面：後ろ→前の順で。ファスナー部分はアイロンを中温のままドライにし、当て布の上からアイロンをかける。こうするとファスナーの跡が出にくい。

「今まで前からかけていましたが、一番目立つ部分は最後にかけるのがコツなのですね」（大野さん）

今回大活躍したティファールのスチームアイロン、パワフルな蒸気と使いやすさはプロのお墨付き。

大物にからみにくいコードシステム

アイロン本体からコードを遠ざけるコードシステム。シーツやコートの大物でも生地を巻き込むことなく、スムーズにかけられる。

大量タンクの注水口は、水を入れやすい大開口。

280mlの大量タンクの注水口は、指一本でラクに開閉できる便利なワンックチシステム。注ぎ口が広く、水道の蛇口やペットボトルからダイレクトに給水できる。

スチームはレバーで蒸気量を調整できる通常スチームとボタンを押すジェットスチームの2種類ある。蒸気で差がつく「ティファールスチーム アイロン アクアスピード ウルトラコード250」1万4700円。縦15×横30×高さ15cm、重量1.4kg。

アイロンがけをラクにする秘密は独自のかけ面にあり。

66個のスチーム孔から1分間に最大35gの大量スチームを噴射。先端ギリギリにまでスチーム孔があるので、細かい部分のシワもあっという間にのばしてくれる。温度が高いほど滑りがよくなる特殊セラミックかけ面は、前後左右に動かしてもシワを作らない。

問合せ先・株式会社 グループ セブ ジャパン お客様相談センター☎0570-077772　http://www.t-fal.co.jp